

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園維持管理に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。また、公園施設の適正な維持管理に努める。
②①に基づく取組み結果	公園サポーターとの連携を図り、各公園の状況などに応じた管理を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市が管理する都市公園及びふれあいの森	意図(対象をどうするのか)	来園者に対し、適切に管理されている公園を提供する。
②事務事業の概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事等を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公園サポーターの高齢化が進み、継続した活動が困難となり、辞められる方が出ている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市民の憩いの場を提供するため、適切に公園の維持管理を行った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	公園サポーター数	31	33	33	人 業務取得
	ii	公園サポーター管理公園数	39	40	40	箇所 業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	209,062	167,695	金額(千円)	内容		164,768
国支出金(千円)			114,528	公園管理委託		
県支出金(千円)		600	25,063	公園維持工事		200
市債その他(千円)						8,243
一般財源(千円)	209,062	167,095				156,325

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	都市公園及びふれあいの森の箇所数の増加や既存施設の老朽化に伴い、維持管理費が増加している。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公園管理において、多くの地域住民が公園サポーターとして活動することで、公園に対する愛着及び維持管理への意識を高める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	緑化推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。
②①に基づく取組み結果	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、みどりの保全助成金の交付などを行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市公園、ふれあいの森等	意図(対象をどうするのか)	市民が利用できる緑地の確保、土地所有者の負担軽減。
②事務事業の概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	個人所有の樹林地の適正な維持管理には相当な費用を要することから、個人で維持管理していくのが難しく、相続発生などをきっかけに宅地化する傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	①緑道整備事業の用地購入費の支払いを行った。②公園用地の賃貸借を行った。③保全林、保存樹木及びふれあいの森にみどりの保全助成金の交付を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	市民一人当たり公園面積	2.97	3.26	3.27	m ² /人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	71,240	21,046	金額(千円)	内容		20,803	
国支出金(千円)			10,546	用地購入費			
県支出金(千円)			6,455	公園用地借上料			
市債その他(千円)	241	227	3,037	みどりの保全助成金		111	
一般財源(千円)	70,999	20,819				20,692	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保全林、ふれあいの森、借地公園について、相続発生などによる急な買い取り要望への対応が求められる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	街区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	鎌ヶ谷一丁目、丸山三丁目ふれあいの森の用地買戻し、旧第一学校給食センター跡地の公園整備等を実施する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	鎌ヶ谷一丁目、丸山三丁目ふれあいの森の用地買戻し、旧第一学校給食センター跡地の公園整備を実施する。
②①に基づく取組み結果	鎌ヶ谷一丁目、丸山三丁目ふれあいの森の用地買戻し、旧第一学校給食センター跡地の公園整備等に着手した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	街区公園	意図(対象をどうするのか)	整備
②事務事業の概要	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	アンケート調査では、公園は災害時の避難地としての役割や、かまどベンチの設置などが多く要望されており、防災意識の高揚が見受けられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	鎌ヶ谷一丁目、丸山三丁目ふれあいの森の用地買戻し、旧第一学校給食センター跡地の公園整備等に着手した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	市民一人当たり公園面積	2.97	3.26	3.27	m ² /人 業務取得
	ii	鎌ヶ谷一丁目ふれあい森用地取得率	6	40	60	% 業務取得
iii	丸山三丁目ふれあい森用地取得率			40	% 業務取得	
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	216,142	233,303	金額(千円)	内容	199,818	
国支出金(千円)	61,400	71,800	13,774	公園整備工事	50,000	
県支出金(千円)	200	0	217,916	用地購入費	0	
市債その他(千円)	117,500	136,200			123,500	
一般財源(千円)	37,042	25,303			26,318	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	用地先行取得の買戻しには期限があるため、期限内に財源となる国費を確保することが課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の目標水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	用地取得、工事	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	用地取得、工事	239,553	239,553	当初	173,949	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
③達成状況	完了			補正	65,604	現年分	233,303
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
				令和3年度への繰越額(単位:千円)		0	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園施設長寿命化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	長寿命化計画に基づき維持管理を実施する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	引き続き、長寿命化計画に基づき、維持管理を実施する。
②①に基づく取組み結果	長寿命化計画を基に維持管理を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ヶ谷市内の公園施設	意図(対象をどうするのか)	既存施設の長寿命化対策及び安全対策の強化を進める。
②事務事業の概要	公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的な更新、改修を行うことにより、公園施設の安全を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公園施設の老朽化が急速に進む中で、計画的な維持管理に取り組むことが急務となっている。誰もが安心して利用できる都市公園が望まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	長寿命化計画に基づいた貝柄山公園のトイレ改築詳細設計業務の実施及び丸山児童公園外9公園の遊具や管理施設について更新した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	対象公園数	176	176	176	箇所	業務取得
	ii	長寿命化対策計画対象施設数割合	16.2	20.2	23.3	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	29,957	33,818	金額(千円)	内容		75,495	
国支出金(千円)		11,900	1,628	実施設計委託		16,100	
県支出金(千円)			30,097	公園遊具更新工事等		0	
市債その他(千円)	25,900	9,000				50,800	
一般財源(千円)	4,057	12,918				8,595	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	修繕費や更新費の平準化を図り、計画的に事業を進めていくため、財源となる国費の確保が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	安心、安全な公園を目指し、公園施設の老朽化に応じ順次維持や更新を実施する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	公園施設長寿命化整備	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	施設の更新	25,510	59,010	当初	25,510	33,818	R1からの繰越	9,846
				R1⇒R2繰越	10,000			
③達成状況	完了			補正	23,500		現年分	23,972
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				令和3年度への繰越額(単位:千円)			23,500	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業	会計	款	項	目	多額経費
政策	快適な暮らしの環境をつくれます	一般	8	4	5	○
施策	快適な公園・緑地環境の整備	担当課室	公園緑地課			
		担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(＝事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市制記念公園及び新鎌ヶ谷四丁目公園等に6本植樹する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容
②①に基づく取組み結果	市制記念公園及び新鎌ヶ谷四丁目公園等に6本植樹した。	

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷地区から市制記念公園周辺の「桜ゾーン」	意図(対象をどうするのか)	賑わいの創出による市の魅力アップ
②事務事業の概要	「桜ゾーン」に、桜を植樹して、人を誘導し、回遊性を生み出すことで賑わいを創出し、市の魅力アップを図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	74本の植樹を計画していたが、具体的に植樹可能箇所を調査した結果、59本の植樹を行う計画に変更となった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	桜の里親制度による桜の植樹					
②成果を表す指標	指標名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i 植樹本数	46	53	59	本	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	2,071	1,792	金額(千円)	内容		0
国支出金(千円)	0	0	1,731	桜の植樹工事		
県支出金(千円)	0	0				
市債その他(千円)	140	120				
一般財源(千円)	1,931	1,672				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩車道や地下埋設物への影響から将来の桜の成長に見合う植樹場所の確保が難しい。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業実施計画に基づき、植樹が完了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	植樹工事	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	桜の植樹6本実施	2,454	1,873	当初	2,454	1,792	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		現年分	1,792
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-581			
				令和3年度への繰越額(単位:千円)		0		

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	緑の基本計画策定事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	新型コロナウイルス感染症の再拡大等も視野に入れ、業務委託の作業及び検討委員会の開催等に遅れが生じないように取り組む。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	緑の基本計画	意図(対象をどうするのか)	将来の緑のあり方を定める
②事務事業の概要	本市の目指す都市像の実現に向けて、緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画を策定する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	前計画策定から18年が経過し、人口減少、少子高齢化、財政運営の悪化など行政運営を取り巻く環境が大きく変化し、緑地の目標水準は大きく乖離している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	関連法、関連計画等の整理、基礎調査(社会条件、自然条件、緑地、緑被)、市民意識調査を実施した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	業務委託進捗率			22%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	0	3,130	金額(千円)	内容		13,760
国支出金(千円)		0	3,130	計画策定業務委託(継続費)		0
県支出金(千円)		0				0
市債その他(千円)		0				0
一般財源(千円)		3,130				13,760

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、業務委託の作業及び検討委員会の開催に遅れが生じている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成14年度に策定した計画の期間が令和2年度までとなり新たな計画を策定する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	基礎調査、計画骨子策定	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	基礎調査が完了	6,649	6,649	当初	6,649	3,130	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0			
③達成状況	未完了			補正	0		現年分	3,130
④未完了・非着手の理由	新型コロナにより検討委員会の開催に遅れが生じたため。	令和3年度への繰越額(単位:千円)					3,338	